

我が社の地球温暖化防止実行計画

事業所名 大日土建株式会社

策定年月日 H21年 1月

1. 事業内容(特徴)

総合建設業 石川県知事許可

土木部門 土木一式請負工事

(道路建設工事・下水道工事・橋梁工事・トンネル工事・スポーツ施設工事・公園工事・その他工事)

建築部門 建築一式請負工事

(鉄筋コンクリート造工事・鉄骨・鉄筋コンクリート造工事・鉄骨造工事・木造建築工事・その他工事)

2. 事務・事業から排出される温室効果ガスの主な要因

- ・通勤に伴う自動車燃料としての、ガソリン及び軽油使用によるもの。
- ・事務所の蛍光灯・温水器・OA機器・冷房等の電気使用によるもの。
- ・工事作業所事務所の、暖房の灯油使用によるもの。
- ・工事作業所の建設機械・建設車両・各種内燃機関使用燃料によるもの。
- ・工事作業所の工事用電力及び事務所で使用する電力によるもの。

3. 温室効果ガスの削減目標(目標年度:H20年度、基準年度H19年度)

二酸化炭素排出量を 134tから 127tにする。(5%削減)

(内訳)

電気使用量	3%削減
A重油、灯油、潤滑油使用量	5%削減
ガソリン、軽油(自動車燃料)使用量	5%削減

4. 温室効果ガス削減に向けての主な対策

- ・重機の使用前と使用後のアイドリングは10分間程度にする。
- ・重機の効率の良い使い方を施工計画時に検討する。
- ・社用車代替時における低公害車の選択を検討する。
- ・照明をこまめに消す。
- ・事務所のブラインドの調整を行い、室温の調整を行う。
- ・事務所内の室温を、暖房時23℃、冷房時27℃にする。
- ・工事車両運用時の効率的な運搬経路を検討する。

5. その他我が社の環境対策

産業廃棄物の排出

- ・分別回収等によるリサイクル化の促進を行う。
- ・草木等は現場内の安全な場所に仮置き・乾燥させ、量の減量化を図る。
- ・汚泥等は、沈殿乾燥させ、量の減量化を図る。
- ・コンクリート・アスファルトは30cm位まで破碎し、ダンプトラックの運搬回数を削減する。
- ・木根・木材は適切な長さに切断し、荷積み容易にする。

水使用量

- ・トイレの貯水タンクに、ペットボトルを沈め、一回の水量を削減する。又、ペットボトルがレバーに引っ掛かり易いので、レバー操作を確実にを行う。
- ・水洗等は漏水がないか、使用後に点検する。
- ・水道パイプ及び水洗等に漏水箇所発見時には、即座に、総務部長に報告する。

問い合わせ 大日土建株式会社 担当 金丸 健

076 - 242 - 2235 FAX 076 - 242 - 3500

URL <http://www.dainichidoken.co.jp>